

(別紙様式2)

学生等評価の改善状況報告書

令和元年6月6日

評価会議議長 殿

工学部長

静岡大学における学生等による評価に関する基本方針に基づき、平成24年度に実施された学生等による評価結果に係る改善事項について、平成30年度の改善状況を次のとおり報告します。

改善事項
教職の学級・学校のマネジメント能力
改善計画
1：教育実習の際に必要な心構えを、講義内でも繰り返し伝える。 2：もの作り支援等、学校現場の教育活動への参加を通して、知識やスキルを一層高めるための指導を行う。 実施時期（予定を含む）：一部実施中 来年度以降に改善を検討
改善状況
教育実習の事前指導、事後指導や教職関連の講義内で繰り返し、知識・心構えの教育を実施している。 また、平成25年度改組の際に、数理システム工学科にて高校数学の免許を取得できるようにしており、同学科の免許状取得者は平成28年度4名、平成29年度5名、平成30年度2名であった。同学科は定員数（50名）からすれば取得割合が高いといえ、学生の需要を取り込むこともできたといえる。 これらのことから教員養成教育の内容の改善および成果が出ていると判断する。
達成年度（予定を含む）
平成30年度